

ストリングの基礎知識

第54回

今回解説してくれるのは



野口大貴

(テニスサポートセンター仙川店)
テニス歴14年。「お客様に合ったセッティングを見つけます。ぜひ、お店に来てご相談ください」と語る。

知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフ向上に役立ててください

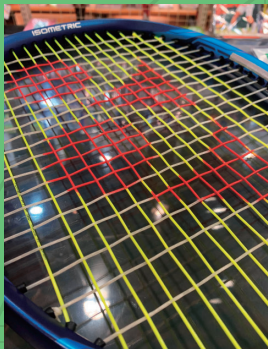
ストリング最旬情報、ダブルスプレーヤー向けのセッティングは？

Q この情報を知っていたらストリング通と言われるような、ストリング界の最旬情報を教えてください。
(テニス歴15年/30代男性)

同素材での種類を変えたハイブリッドが人気

多くのトップ選手がストリングのメイン(縦糸)とクロス(横糸)で違う種類のストリングを組み合わせて張るハイブリッドがメジャーになってきています。今はその流れが選手だけではなく、一般の幅広い層に増えています。

ハイブリッドと聞くと『ポリエステル×ナイロン』や『ポリエステル×ナチュラル』のように縦横でストリングの素材を変えるものを想像する方が多いでしょう。しかし、近年では一般プレーヤーを中心に、同じ素材同士でストリングの種類を変えたハイブリッドや、太さを変えたハイブリッドなど様々なパターン



縦と横で違うストリングを張るハイブリッド。現在ではプロだけでなく、一般プレーヤーの間にも浸透してきている。

ーンが試されています。その理由は、同じ素材でストリングの種類が増え、極細や異形状など特徴のある物が多く発売されるようになったからです。

例を挙げると、同じストリングで縦糸を細く、横糸を太くすることで、耐久力と反発性能、回転性能、フィードバックの良さといった太ゲージと細ゲージ、それぞれの良さを引き出すことができます。その結果、今まで解消できなかった、プレーヤーの悩み解決につながっています。しかし、組み合わせが無数にあるため、正確な知識を持ったストリンガーでないと、適切なハイブリッドを見つけるのが難しいという点もあります。

多くのストリングを扱うお店で、自身のプレイスタイルに合った組み合わせを相談してみましよう。シヨップに足を運び、最新のストリング情報をチェックしてみてください。

Q ボールがよく飛ばラケットを使っています。ダブルスを楽しんでいます。どういったストリングを選ぶといいですか？
(テニス歴8年60代女性)

打球感が柔らかめのストリングがおすすめ

よく飛ばラケットを使用している場合は、相手の力を利用したストロークやボレー、面を合

打球感が柔らかめのストリングを低めのテンションで張ってみよう。スピードも求めるなら細ゲージにするのもいい



わせて打つフラットやスライス系のシヨットが多いと思います。このようなプレースタイルの方は打球感が柔らかめのストリング(ナイロン系マルチやナチュラルガット)がおすすめです。張り方は標準よりも低めで張ると良いでしょう。

このようなセッティングにすることで、ストリングがたわむようになりボールとストリングの接触時間が長くなります。その結果、少ない力でボールにパワーを加え、コントロール性を高くすることができます。

さらに、ボレーなどのインパクト幅が小さいシヨットを打つ際に、ボールを運ぶ感覚の助けとなるのもポイントです。ボレーをする頻度が多いダブルスにおいて最適なセッティングと言えます。

ボールのスピード感を重視したい場合は、標準より細いゲージを選ぶと良いでしょう。細ゲージはボールをよく弾くので、シヨットのスピードを補って

ストリング都市伝説

れます。細いストリングを選ぶ時は普段より5%ほどテンションを落とすのがお勧めです。ダブルスは展開が早く、素早いラケット操作でしっかりとボールをコントロールすることが必要です。自分に合ったセッティングを見つけて楽しくプレイしてください。

グリップは太くすることはできても、細くすることはできない。

細くすることも可能です。ベースの「リプレイスメントグリップ」をサイズダウン用の薄いものに巻き直すことで細くすることができます。さらに、薄めのオーバーグリップを巻くと、ワンサイズ程度サイズダウンが可能です。グリップサイズでお悩みの方は一度試してみてください。



薄めのリプレイスメントグリップに巻き直せば、サイズダウンできる